



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月29日

上場会社名 株式会社小森コーポレーション 上場取引所 東
コード番号 6349 URL <https://www.komori.com/ja/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 訓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グローバル経営管理統括本部長 (氏名) 橋本 巖 (TEL) 03-5608-7826
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	22,538	△7.3	507	14.5	627	△43.5	428	△31.0
2025年3月期第1四半期	24,313	25.5	442	—	1,111	116.2	621	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 402百万円(△44.3%) 2025年3月期第1四半期 723百万円(△65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	8.08	—
2025年3月期第1四半期	11.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	181,555	113,335	62.4
2025年3月期	172,915	115,499	66.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 113,335百万円 2025年3月期 115,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	48.00	68.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,600	16.9	3,800	190.9	3,700	163.1	2,600	158.6	49.00
通期	124,500	12.1	9,100	27.8	8,900	16.8	6,400	△11.7	120.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	53,478,840株	2025年3月期	53,478,840株
2026年3月期1Q	419,855株	2025年3月期	419,711株
2026年3月期1Q	53,059,085株	2025年3月期1Q	53,059,434株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の変動等様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

決算説明会資料はTDnetで2025年8月4日(月)に開示し、同日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢のさらなる不安定化等の地政学リスクに加えて、米国の輸入関税政策をめぐる不確実性が影響し、先行きに対する不透明な状況が続きました。このような環境のもと、当社グループの売上高は、前年同期比7.3%減少の22,538百万円となりました。地域別連結売上高の状況は次のとおりであります。

地域別連結売上高の概況

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間 (2024.4.1～2024.6.30)	当第1四半期 連結累計期間 (2025.4.1～2025.6.30)	増減率(%)
売上高		24,313	22,538	△7.3%
内訳	日本	6,799	7,053	3.7%
	北米	2,074	2,061	△0.6%
	欧州	4,461	4,669	4.7%
	中華圏	5,001	2,194	△56.1%
	その他地域	5,975	6,558	9.7%

日本市場では、労働需給が不均衡な状態で推移したものの、物価の上昇が鈍化し個人消費は底堅く推移しました。コア事業であるオフセット事業では省エネ性能を高める投資や生産性向上や効率化等の合理化投資を進める動きが続きました。売上高は前年同期比3.7%増加の7,053百万円となりました。

北米市場では、各国間との関税交渉の決着がつかず、事業に与える影響が不透明な状況が続いています。このような状況下で、関税猶予期間中の駆け込み需要の影響もあり当第1四半期の受注高が増加しました。一方で売上高は、第2四半期以降を予定しているものが多く、前年同期比0.6%減少の2,061百万円となりました。

欧州市場では、インフレ率の鈍化や政策金利の引き下げにより、景気の回復傾向が見られました。パッケージ専用輪転印刷機の引き合いが好調で受注高が増加しました。売上高は前年同期比4.7%増加の4,669百万円となりました。

中華圏市場では、米国関税の影響や内需不振により、中堅で商業印刷中心の顧客は投資に慎重な姿勢が見られます。5月に中国で開催された大型展示会である「China Print 2025」では顧客の関心を集め、多くの引き合いを得ておりますが、米国関税の決着が不透明であることから、正式受注契約の締結に時間を要しております。売上高は第2四半期以降を予定しているものが多いため、前年同期比56.1%減少の2,194百万円となりました。

その他地域はアセアン・インド・オセアニア・中南米を含んでおります。その他地域では、前年同期は大型展示会効果や証券印刷機の大型受注があり好調でしたが、当第1四半期はその反動で受注高が減少しています。売上高は、前連結会計年度の受注の恩恵を受け、前年同期比9.7%増加の6,558百万円となりました。

売上原価率は、前年同期とほぼ同等となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ、広告宣伝費、販売手数料が減少したこと等により減少しました。その結果、営業利益は、507百万円(前年同期比14.5%増加)となりました。経常利益は、為替差損が計上されたこと等により、627百万円(前年同期比43.5%減少)となりました。税金等調整前四半期純利益は、1,071百万円(前年同期比5.4%減少)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、428百万円(前年同期比31.0%減少)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

セグメントの「日本」には、日本の国内売上と日本から海外の代理店地域や海外証券印刷機の直接売上高が計上されております。同代理店地域には、一部のアジアと中南米等が含まれております。上記記載のそれぞれの地域での業績を反映した結果、セグメントの「日本」の売上高は11,925百万円（前年同期比8.5%の減少）となり、品目別売上構成の違い、広告宣伝費及び販売手数料の減少等のため、セグメント利益は2,013百万円（前年同期比52.4%の増加）となりました。

②北米

セグメントの「北米」には、米国の販売子会社の売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べました北米の状況の結果、セグメントの「北米」の売上高は2,074百万円（前年同期比0.0%の減少）となり、セグメント損失は40百万円（前年同期は22百万円）となりました。

③欧州

セグメントの「欧州」には、欧州の販売子会社、欧州の紙器印刷機械製造販売子会社グループ及び欧州の印刷後加工機器製造販売子会社グループの売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べました欧州の状況の結果、セグメントの「欧州」の売上高は4,669百万円（前年同期比4.7%の増加）となり、セグメント損失は1,033百万円（前年同期は1,072百万円）となりました。

④中華圏

セグメントの「中華圏」には、香港、中国深圳市、台湾の販売子会社及び中国南通市の印刷機械装置製造販売子会社の売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べました中華圏の状況の結果、セグメントの「中華圏」の売上高は1,613百万円（前年同期比57.7%の減少）となり、セグメント損失は119百万円（前年同期は75百万円の利益）となりました。

⑤その他

「その他」には、インド、シンガポール及びマレーシアの販売子会社の売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べましたその他地域の状況の結果、売上高は1,686百万円（前年同期比80.3%の増加）となり、セグメント利益は150百万円（前年同期比143.1%の増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間の特記事項は、以下に記載のとおりです。

・新機種では、菊半裁寸延オフセット枚葉印刷機「LITHRONE GX29 advance」を新たにラインアップに追加しました。本機はカードや医薬品パッケージ等多様な印刷ニーズに応える高い面付効率を実現しています。また、特殊紙（透明フィルム、蒸着紙等）への高品質印刷が可能で、パッケージ分野における付加価値を強化しました。さらに、オペレーティングシステムの強化により高速生産と損紙低減を推進し、世界最高水準のROIを提供します。

「KP-Connect Pro」による工程連携や、環境配慮型の機能により、温室効果ガス(GHG)排出量削減と高生産性を両立し、スマートファクトリー化を支援する次世代印刷機として、持続可能な印刷業界の発展に貢献してまいります。

・2025年5月に中国・北京で開催された「China Print 2025」では、主催者発表では、出展数は1,300以上の企業・団体で、盛況の中、当社グループは「Connected Automation」をテーマに出展しました。ネットワークによるデータ連携で工程間の障壁をなくし、生産性と収益性を高めるスマートファクトリー構築を提案しました。新型菊半裁寸延オフセット枚葉印刷機「LITHRONE GX29 advance」や、世界最高クラスのROIを誇るB2枚葉UVインクジェットデジタル印刷機「J-throne 29」を出展し、中華圏市場向けに初披露しました。また、印刷会社のIoTを実現する「KP-Connect Pro」を軸に、オフセットとデジタルのハイブリッドワークフローを実現する新たなソリューションを紹介し来場者から高評価を得ました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ8,639百万円増加(5.0%増)し、181,555百万円となりました。資産の主な増加要因は、有価証券の増加10,282百万円、棚卸資産の増加4,351百万円、流動資産その他の増加680百万円等であり、主な減少要因は現金及び預金の減少7,193百万円等であります。

(負債及び純資産)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ10,803百万円増加(18.8%増)し、68,220百万円となりました。負債の主な増加要因は社債の増加9,000百万円、流動負債その他の増加3,764百万円、短期借入金の増加672百万円等であり、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少935百万円、未払法人税等の減少922百万円、流動負債の引当金の減少757百万円等であります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,164百万円減少(1.9%減)し、113,335百万円となりました。純資産の主な減少要因は、配当金の支払い等による利益剰余金の減少2,137百万円、退職給付に係る調整累計額の減少142百万円等であり、主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加158百万円であります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の66.8%から4.4ポイント減少し、62.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2026年3月期の業績予想は、2025年5月14日に公表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,148	40,955
受取手形、売掛金及び契約資産	16,159	16,072
電子記録債権	2,231	2,152
有価証券	11,321	21,603
商品及び製品	21,228	22,996
仕掛品	12,378	14,634
原材料及び貯蔵品	8,885	9,211
その他	3,993	4,674
貸倒引当金	△307	△281
流動資産合計	124,039	132,019
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,221	8,261
その他（純額）	12,561	13,008
有形固定資産合計	20,782	21,270
無形固定資産		
のれん	1,131	1,035
その他	1,357	1,261
無形固定資産合計	2,488	2,296
投資その他の資産	25,604	25,968
固定資産合計	48,875	49,535
資産合計	172,915	181,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,442	6,506
電子記録債務	7,388	7,155
短期借入金	191	863
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,110	1,187
引当金	2,177	1,420
その他	23,853	27,618
流動負債合計	53,163	54,751
固定負債		
社債	-	9,000
長期借入金	114	101
退職給付に係る負債	970	1,111
引当金	24	20
その他	3,143	3,234
固定負債合計	4,252	13,468
負債合計	57,416	68,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,714	37,714
資本剰余金	37,286	37,286
利益剰余金	31,306	29,168
自己株式	△380	△380
株主資本合計	105,927	103,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,601	5,759
為替換算調整勘定	2,958	2,917
退職給付に係る調整累計額	1,011	868
その他の包括利益累計額合計	9,571	9,545
純資産合計	115,499	113,335
負債純資産合計	172,915	181,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	24,313	22,538
売上原価	15,641	14,319
売上総利益	8,672	8,218
販売費及び一般管理費	8,229	7,711
営業利益	442	507
営業外収益		
受取利息	59	57
受取配当金	182	186
為替差益	415	-
その他	56	97
営業外収益合計	713	341
営業外費用		
支払利息	26	56
社債発行費	-	48
為替差損	-	106
その他	18	10
営業外費用合計	45	221
経常利益	1,111	627
特別利益		
固定資産売却益	1	129
投資有価証券売却益	4	319
子会社清算益	16	-
特別利益合計	22	448
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	4
税金等調整前四半期純利益	1,132	1,071
法人税、住民税及び事業税	416	1,048
法人税等調整額	94	△406
法人税等合計	510	642
四半期純利益	621	428
親会社株主に帰属する四半期純利益	621	428

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	621	428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△754	158
為替換算調整勘定	874	△41
退職給付に係る調整額	△18	△142
その他の包括利益合計	101	△26
四半期包括利益	723	402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	723	402

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	542百万円	566百万円
のれんの償却額	72	61

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結財務諸表 計上額
	日本	北米	欧州	中華圏	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,030	2,074	4,461	3,812	23,377	935	24,313	—	24,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,952	0	83	390	6,427	35	6,463	—	6,463
計	18,982	2,075	4,544	4,202	29,805	970	30,776	—	30,776
セグメント利益又は損 失(△)	1,321	△22	△1,072	75	302	61	363	79	442

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、シンガポール及びマレーシアの販売子会社であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	302
「その他」の区分の利益	61
棚卸資産の調整額	166
セグメント間取引消去	45
その他の調整額	△133
四半期連結損益計算書の営業利益	442

3. 固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に、当社連結子会社であるKomori Chambon S.A.S.が、米国子会社Komori Chambon USA Corporationを通じて米国有数のロータリーダイツール・メーカーであるBernal LLCの行うロータリーダイツールの製造・販売・サービス事業を譲受しました。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、1,273百万円であります。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結財務諸表 計上額
	日本	北米	欧州	中華圏	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,925	2,074	4,669	1,613	20,283	1,686	21,969	568	22,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,706	13	47	387	8,154	59	8,214	—	8,214
計	19,631	2,087	4,717	2,001	28,437	1,746	30,184	568	30,752
セグメント利益又は損 失(△)	2,013	△40	△1,033	△119	820	150	970	△463	507

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、シンガポール及びマレーシアの販売子会社であります。

(注2) 外部顧客への売上高に関する調整額の内容は以下のとおりであります。

報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、四半期連結損益計算書上では本人として処理される取引額581百万円が含まれ、履行義務の充足に応じて一定期間にわたり収益を認識する取引について、セグメント間取引における進捗度の調整額△12百万円が含まれております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	820
「その他」の区分の利益	150
棚卸資産の調整額	△458
セグメント間取引消去	9
履行義務の充足に係る進捗度調整	△12
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	507